

第4回 長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和3年(2021年)10月23日(土)9:30～12:00
場所	長房小学校1階 プレイルーム
出席者	参加者:浅井、宇田、大田原、坂本、鈴木、田代、塚本、西山、長谷川、藤原、本堂、松葉、森、山陰、渡辺 社会福祉協議会:横内 高齢者あんしん相談センター長房:古座野、小野 シルバー見守り相談室長房:光富 第1層生活支援コーディネーター:今泉 八王子地域 PAL-ETTE:小杉、雑賀 未来デザイン室:今川、野田、安齋、牧瀬 RPI:丸木、笠原、新津
見学者	八王子未来 CAN-VAS:和田
配付資料	・第4回長房中学校区地域づくり推進会議資料 ・資料1 長房中学校区の将来ビジョンを実現するためのアクションプラン一覧(修正版) ・資料2 第3回長房中学校区地域づくり推進会議の検討結果 ・資料3 長房中学校区の地域づくりに関するアンケート調査 ご協力をお願い ・資料4 長房中学校区地域カルテ(更新版) ・資料5 長房中学校区地域づくり推進会議参加者一覧

1. 開会

未来デザイン室から挨拶。

2. オリエンテーション

新規参加者から自己紹介。

3. 議題

(1) アクションプランを検討しよう

資料1(長房中学校区の将来ビジョンを実現するためのアクションプラン一覧(修正版))、資料2(第3回長房中学校区地域づくり推進会議の検討結果)をもとに、推進会議で検討するアクションプラン作成までの流れや、連携・協働により実現していく地域づくりの全体像を事務局から説明し、4グループに分かれて第3回推進会議の検討結果の振り返りを行った。その後、全体で優先分野の検討を行い、「地域情報の発信力の強化」を今年度の優先的分野として位置付けた。それぞれの検討において出された意見は以下のとおり。

アクションプランの検討結果の振り返り

参加者の意見

- ・地域の歴史を知るために、昔から住んでいる住民の話を書くことや地域を学術的アプローチで知ることが大切。
- ・長房エリアは近くに避難できる場所が少ない。船田小学校と長房中学校は地形的に避難場所として適していない。身近な場所に防災拠点が必要。

- ・多世代交流の促進として、地域運動会などを開催したら良い。町会単位で情報発信をすると限られた人にしか情報が届かないため、地域住民が集まるコピオ長房などで地域情報を発信していくのはどうか。
- ・地域コミュニティの活性化は欠かせないが、他のテーマと組み合わせると同時に進めることは可能。
- ・団地では停電対策が必要。
- ・若い世代に対して情報が届いていない、地域での発信力強化が必要。
- ・学校が一般の方向けに利用可能であるということ、地域イベントの開催情報などが届いていない。
- ・長房には街路灯が少ないエリアがあり、夜道を通る際に不安である。
- ・地域ニーズに応じた設備(トイレや公園など)が少ない。

優先的に取り組む分野の決定へ向けた検討

参加者の意見

- ・今後の地域を担う若者からのアイデアが必要。
- ・長房ふれあい端午まつりには、多くの地域住民に参加していただきたい。
- ・様々な地域イベントなどに誰もが「参加する」ということが大切。
- ・地域情報を地域住民が集まるコピオ長房の掲示板やコミュニティスペースを活用して掲載・発信してはどうか。
- ・紙ベースの情報源も重要である。データでは後世に残りにくい。
- ・町会に加入していれば、回覧板で地域情報は入ってくるが、町会非加入の方には届かない。
- ・紙ベースでの情報発信に比べ、インスタグラムやツイッターなどの SNS は、能動的に情報を収集するツールとして使用するメディアなので、情報の伝達がしやすいのではないか。
- ・若年層にも見てもらえるよう、現在作成しているものとは別に若年層版の地域カルテを作成してはどうか。(情報発信の方法は、QR コードや SNS を活用する。)

優先的に取り組む分野の決定

これまでの検討を踏まえ、参加者の意見のなかで重要とされている「地域情報の発信力の強化」を優先的に取り組むことで合意した。

(2) 地域カルテの構成を確認しよう

資料 3(長房中学校区の地域づくりに関するアンケート調査 ご協力のおかげ)をもとに、アンケート案の検討を行った結果、次回の第5回推進会議でアンケート案を再提示し、検討することで合意した。また、資料 4(長房中学校区地域カルテ(更新版))をもとに地域カルテの固有ページの検討を行い、不足項目は依頼書を事務局に提出することで合意した。各項目における参加者の意見は以下のとおり。

アンケート

参加者の意見

○アンケートの内容について

- ・何を聞きたいのかを明確にし、シンプルにするべき。内容が多い。
- ・「中学校区」の説明は一般住民の方には分からないので分かりやすくする。
- ・居住歴と地域活動への参加の有無を追加、職業は外しても良いのではないか。

○実施方法について

- ・町会、自治会は、実施期間が短いこと、アンケートを記入するうえで説明が必要なことから、役員にターゲットを絞り、紙媒体であれば対応できるのではないか。

・PTA は、メールなどの既存の連絡網を活用し、全体に周知を図りつつ、役員には WEB 媒体で配布する方向で進める。PTA では役員に加え、各学級の担当者に配布できる可能性が高い。

・推進会議参加者が各自で回収することで、依頼と合わせて説明ができるため良いのではないかとアンケートの目的は、広く住民の意見を聞くことであるため、対象者を限定する必要はない。各団体の可能な範囲で進めていただきたい。(未来デザイン室)

参加者の皆様よりいただいた御意見を踏まえ、次回の第5回推進会議で修正案を提示する。

地域カルテ

参加者の意見

・町会・自治会の一覧ページについて、中学校区単位で見ると、城山手などの町会・自治会が記載されていない。また、地域の実情に合わせるため、中学校区の範囲を超えた内容も記載して良いのか。

厳密に中学校区の範囲にあるものを掲載するのではなく、地域の実情に合わせた形で掲載したいと考えている。範囲を超えて掲載する場合は、但し書きで対応する。なお、掲載する町会・自治会は再精査を行う予定。(未来デザイン室)

・地域の年間行事について、全町会に確認を行っており、回収次第共有する。

・地域資源マップの中の AED について、24 時間の使用可否を明確にできると良い。

・地域固有ページにアンケートの結果を必ず掲載する必要はないのではないかと。

地域固有ページは、地域の皆様が長房中学校区の方々に発信したい情報を掲載できるよう、その分のページを確保させていただいた。ぜひ活用してほしい。(未来デザイン室)

次回の第5回推進会議において地域固有ページに掲載する項目を検討したい。(未来デザイン室)

(3) 地域づくり推進会議の運営方法を検討しよう

未来デザイン室から推進会議参加者及び地域団体との連携、地域づくりワークショップについて説明を行い、意見交換を行った。参加者の意見は以下のとおり。

推進会議のあり方について

参加者の意見(「(1)アクションプランを検討しよう」において出た意見を記載)

・中学校区ごとに市の担当者はいるのか。今後の活動を進めるにあたり、誰に相談すれば良いのか。

今年度のモデル地区に関しては、担当の八王子地域 PAL-ETTE と未来デザイン室にぜひ相談をしてほしい。次年度以降も市として中学校区ごとに地域の皆様の活動を支援していく。(未来デザイン室)

・今後も推進会議を継続させていくには、地域住民及び市の職員にそれぞれ中心となるとメンバーを選定し、会議運営等について検討していくことができる体制を整備することが必要。

地域と市の両方で核となるメンバーのあり方について、推進会議の皆様と引き続き検討していきたい。(未来デザイン室)

・PTA は引継ぎがあるため、今後の推進会議のあり方を明確にする必要がある。

役職を離れた後も、地域づくりをともに進めていくメンバーとして、引き続き推進会議に御参加いただき、継続して活動いただきたいと考えている。(未来デザイン室)

・地域住民の意見をどのようにまとめていくかが、この推進会議の役割だと感じている。

・推進会議の役割として誰が何をやるかをしっかり決めると、アクションプランの検討においてもスムーズに進めていけるのではないかと。

推進会議の参加者、地域団体との連携、地域づくりワークショップについて
事務局説明

・第3回推進会議において、保護司の参加を希望する意見をいただいたが、整理として保護司の意見が必要となった際に随時参加していただく形も良いのではないかと考えている。

・推進会議参加者のほかにも幅広い地域の方に地域づくりに関わっていただくきっかけとして、地域づくりワークショップなどを活用していきたい。

参加者の意見

・地域づくりワークショップには消防団や老人会の人を呼びたい。

地域づくりワークショップには公募市民のほか、推進会議参加者1人につき、1人ずつ御推薦をいただきたいと考えている。第5回推進会議の開催通知に推薦書を同封するので、開催日当日に御持参いただきたい。

4. その他

第5回推進会議の開催日程等を確認

日時:令和3年(2021年)11月6日(土)

場所:長房小学校1階 プレイルーム

以上

第4回 長房中学校区地域づくり推進会議 検討結果

● 優先的に取り組む分野 「地域情報の発信力の強化」

→若者に向けたSNSでの発信、コピオ長房など地域施設を活用した情報発信、地域のイベントでの発信

● 地域情報の発信力の強化

若い世代は市広報をスルーすることがある
SNSの方が良い

地域情報発信力強化のために、HPが必要

学校や地域イベントでの周知など
情報伝達の場を広げる

誰でも来る場所に情報拠点を
作ったかどうか
コピオ長房・ふれあい館

小学校、校庭などスポーツなどで活用可能だが
情報が伝わっていない

地域カルテの若者版をつくる

世代にあった情報発信
若年層→インスタグラム
シニア→紙

町会は加入率が低い
ため、情報発信基盤にするのは難しい

● 地域の防災力の向上

都営団地では、停電対策が必要
都営では在宅避難

都営団地では、在宅避難者が多い

長房中、船田小は避難できない。
身近な地域に災害拠点を！

防災について団地の方の意識高い

地域の防災力の向上（都営団地にソーラーパネルの設置など

防災について地域で積極的に取り組んでいる

ふれあい館、町内会館も身近な避難場所にしては？

● 地域の担い手の育成

● テーマ型活動の充実

担い手作りのアプローチをどうやっていくか

長房の歴史を学ぶ地域を知る

地元の詳しい人と郷土資料館と連携して学ぶ

職場体験を地域で充実

歴史を知ると住むのが面白くなる

地元企業の一覧化

陸軍や船田遺跡の歴史

● 多世代交流の促進

多世代交流と活動拠点の整備は一緒に取り組めるのでは

地域のイベントなどに「参加する」ことが活性化につながる

南団地（の子供）が一体になると地域が1つにまとまる

最優先はコミュニティ活性化
多世代交流の促進
テーマ型活動の充実
活動拠点の整備を一緒に取り組む

古い住民と新しい住民の交流

● 地域コミュニティの活性化

スポーツで活性化
地域の運動会があったらいい

端午まつりでは、PTAとの連携を検討している

あいさつで活性化

サロンには新しい住民が来てくれない（来て欲しい）

小学校校庭一掃清掃
50人ぐらいが参加している

● 地域ニーズに応じた施設整備

公園・トイレが少ない

長房には街路灯が少ないエリアがある